

指定管理者総合評価シート

様式 4

施設名	荒海共生プラザ		
指定管理者	荒海区共生施設管理組合		
指定期間	平成 29 年 4 月 1 日	～ 令和 4 年 3 月 31 日	2 年目
施設所管課	空港部	空港対策課	

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
I 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	A	A
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	A	A
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	—	—
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	—	—
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	—	—
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	A	A
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A
		避難経路は適切に確保されているか	A	A
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A
		個人情報保護に関する規程が整備されているか	A	A
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構じられてるか	A	A
情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	A	A	
	協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	A	A	
その他	健康ルームの機器について、定期的に点検を行っているか	A	A	
【総括 I】	実施体制の履行状況に関する評価(標準 20 項目・本施設 17 項目)	A		
指定管理者の自己評価	日報を作成し、月報・年報にとりまとめ、随時報告を行った。報告時には利用状況の他、各種事業や機器の整備状況の報告を行い、情報の共有化を図った。			
施設所管課の評価	良好に施設管理を実施されている。毎月初旬に、施設利用状況や運用等について報告を受けることで、情報の共有を図ることができた。			

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
II サービスの内容や水準に関する	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	A	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A
	利用案内	ホームページは計画どおりに運用されているか	—	—
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	A	A
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	A	A
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	A	A
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	A	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	A	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	A	A
		参加促進への取組を積極的に実施しているか	A	A
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	A	A
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	—	—
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	—	—
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	A	A
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか	A	A
		備品台帳により記録が適切に保管されているか	A	A
市と指定管理者の備品が明確に区別されているか		A	A	
必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか		A	A	
その他		利用者に対して声掛けを行うなどしてコミュニケーションをとっているか	A	A
【総括 II】	サービス等の内容や水準に関する評価(標準 20 項目・本施設 17 項目)	A		

評価	指定管理者の自己評価	日常的な利用だけではなく、イベントを開催することによって、地区住民とのコミュニケーションを図った。
	施設所管課の評価	該当の評価項目については、良好に実施されている。親しみやすい施設となるようイベントを開催する他、初めて来場される方に対しても、丁寧に器具や施設の説明を行うことで誰でも利用しやすい施設となるように努めていた。

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
III 収支等に関する評価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか	—	—
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	A	A
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	A	A
	経費節減 その他	経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか	A	A
	【総括 III】	収支等に関する評価(標準 6 項目・本施設 5 項目)		A
指定管理者の自己評価	各支払証拠書類を保管し、適正・適切な処理をした。			
施設所管課の評価	該当する評価項目については、良好に実施されている。経理事務は、収支計算等を記載した各種帳簿の整備や監査を行い適正な管理に努めている。			

評価項目	評価基準/目標は達成されたか	数値目標	自己評価	所管課評価	
IV 目標管理に関する評価	目標①	「親切・丁寧」な対応を心がけ、継続して通えるような運営に努める。	21名/日	A	A
	目標②			—	—
	目標③			—	—
	【総括 IV】	目標管理に関する評価(標準 3 項目・本施設 1 項目)		A	
指定管理者の自己評価	目標来館者数21名/日に対し、実績が約22名/日と目標どおりとなった。				
施設所管課の評価	目標を達成しており、年間来館者数は、目標の6,321名を248名上回る6,569名となった。				

V	【総合評価】	I～IVの総括による総合評価	A
---	--------	----------------	---

VI 特記事項	特に評価される点	健康ルームの運用において、トレーニングの場だけでなく、プラザ本来の目的でもあるコミュニケーションの場としての活用に努めている。また、毎月打ち合わせを行うことで、施設利用者からの声や管理状況などの把握ができた。
	改善が望まれる点	今後とも引き続き、地域に密着した施設運営をお願いしたい。